

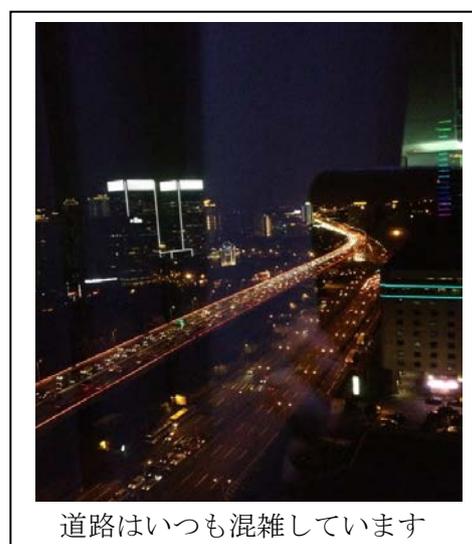
「渋滞の街」上海

「上海の道路」というと、どのような様子を想像されるでしょうか。ひと昔前であれば、道路いっぱい広がる自転車という光景を思い浮かべたかも知れませんが、現在の上海では自動車の台数が増えすぎて、朝夕には特にひどい渋滞が発生しています。通常であれば 30 分かからない距離でも、渋滞時には 1 時間以上かかってしまうようで、中心部への通勤に 1 時間以上かかるのは上海でも普通になっているようです。

上海市では交通渋滞緩和のため、いくつか対策がとられています。そのひとつが、ナンバープレートの競売制度です。この制度は、ナンバープレート発行枚数を年間 12 万枚程度に制限し、毎月 1 万枚前後を競売にかけるものです。2012 年 9 月の入札結果が公表されましたが、平均価格が 66,000 元（約 858,000 円）で最高記録を更新したそうです。中国メーカーの安い車であれば 3 万元程度で販売されていますので、上海市のナンバープレートがどれだけ高いのかが分ります。これだけ高額になっても、毎月の入札者は 2 万人前後いるそうです。

高額な上海市のナンバープレートですが、上海市民にはナンバープレートを手に入れた理由があります。時間帯により上海市のナンバープレートではないと走れない道路があるからです。上海市内には、東京でいう首都高速のような高架の高速道路があります。この道路を走行するのは無料なのですが、朝夕の交通が集中する時間帯には、上海市のナンバープレートでないと走ることができません。上海市中心部は地下鉄やバスが発達しているとはいえ、自動車でないとな不便な場所もまだあることや、郊外からの通勤には自動車は欠かせないという事情もあり、高額な上海市のナンバープレートは必要とされているようです。

上海市はナンバープレート発行で得られた収入を、主に道路の建設や整備に充てています。上海市の発表によると、2015 年までに増やせる道路の許容交通量は、2010 年と比較して 2 割程度と見込んでいますが、自動車の台数はおよそ 2 倍になる見込みだそうです。このままではさらに交通渋滞が激しくなることが予想されるため、新たな対策の検討が必要になりそうです。



道路はいつも混雑しています

ちなみに、中国では上海市以外でも交通渋滞緩和のための規制を行っている都市があります。

北京市はナンバーの末尾番号で平日のうち 1 日を運転禁止にする、という方式を採用しています。月曜日から金曜日まで毎日 2 つの番号を指定し、その番号がナンバーの末尾になっている自動車は運転してはいけない、という規制です。北京オリンピックが開催された頃は、ナンバーの末尾の偶数・奇数で規制をしたのですが、偶数・奇数両方のナンバーを取得して規制を逃れたという例もあったそうで、好きなように自動車に乗るために対策を考える人も多いようです。

その他、広州市でもナンバーの競売制度が始まり、大連市でも競売制度の導入を検討しているようです。大都市での自動車台数抑制の動きは、これからも広がっていきそうです。

日本と比べると、上海の運転マナーは決して良くはないと思います。移動時に車に乗せてもらうことがあるのですが、急加速、無茶な車線変更、無理な割り込み…など、見ていてヒヤッとする場面が多く、ゆっくり乗っていることができません。合流ではすべての車が我先に行こうとするので、身動きが取れなくなることもあります。交通渋滞緩和には、自動車台数抑制も必要なのかも知れませんが、運転マナーの向上も必要なのでは、と感じてしまいます。